



着任挨拶

神崎 淳子
(かんざき じゅんこ)

この4月より地域経済情報センターのプロジェクト・コーディネーターに着任した神崎淳子です。金沢大学経済学部を卒業後、横浜国立大学大学院修士課程に進学し、デンマークの職業訓練教育を事例とした継続的な教育制度について研究を行いました。その後、4年間、人材サービス業界で営業や採用の仕事をし、縁があつて再び金沢に戻りセンターで仕事をする機会をいただきました。

地域経済情報センターのプロジェクト・コーディネーターという仕事に就いた機会に、センターが掲げる「つよい北陸経済」をつくる取り組みに

ついて自分がどのような姿勢で取り組み、何をするか考えてみました。そして、「つよい北陸経済」をつくるためのアプローチは様々に考えられるなかで、私は強い北陸経済を支えている人の力という視点からこの課題に取り組んでみたいと考えています。これからこの仕事を通じて関わらせていただく方々に、センターの活動を通して北陸経済で自分の力を発揮する機会や、方法が得られたと言っていただけるよう、頑張りたいと思います。

私が、人や地域の成長に関わっていくという目標は今の私には力不足の部分が多いかと思います。少し高い目標ではありますが、この仕事を通していろいろな方とお会いし、いろいろなことに挑戦することで、目標を達成できるような自分になつていきたいと考えています。どうぞこれから、皆様からのご指導やご鞭撻をいただけますよう、よろしくお願い致します。

センターよりお知らせ

近刊の紹介

『北陸地域経済学 ～歴史と社会から理解する地域経済～』

碇山 洋・佐無田 光・菊本 舞 編著
日本経済評論社 定価(本体3,000円+税)

- 第1章 日本近代史と金沢・石川・北陸地域
- 第2章 文化創造都市をめざす金沢の財政
- 第3章 ローカル産業とまちづくり
- 第4章 北陸地域産業集積の構造と機能
- 第5章 金沢都市圏の産業構造とその展開
- 第6章 北陸の情報化社会とITビジネス
- 第7章 地域コミュニティと農山村の現代的再生
- 第8章 金沢の福祉制度と介護ビジネス
- 第9章 北陸のコミュニティ・スポーツ
- 終 章 北陸経済と地域研究



推薦文

大阪市立大学・滋賀大学名誉教授 宮 本 奎一

グローバリゼーションの中で、地域経済の独自性の研究はきわめて重要になっている。

北陸地域は、富山、石川、福井と独自の経済・文化をもつとともに、生活の質では共通して

豊かな地域である。

この地域経済の歴史と社会の研究は、日本の今後の内発的地域政策の指針を与える。

地域経済ニュースレター第77号

2007年10月20日発行

発 行／金沢大学経済学部地域経済情報センター 金沢市角間町（☎920-1192） ☎(076)264-5438
編 集／地域経済情報センター 地域経済ニュースレター編集委員（碇山洋、横山壽一、安嶋是晴、神崎淳子）
印刷所／金沢市中村町28-14 株式会社 谷印刷 ☎ 242-7267